

宿泊約款

適用範囲

第1条

1.当ホテルが、宿泊客との間で締結する宿泊契約、及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等(法令又は法令に基づくものをいいます。以下同じ。)又は一般に確立された慣習によるものとします。

2.当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

宿泊契約の申込み

第2条

1.当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- (1)宿泊者名
 - (2)宿泊日及び到着予定時刻
 - (3)宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による。)
 - (4)その他当ホテルが必要と認める事項
- 2.宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

第3条

1.宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。なお、当ホテルが承諾をしなかったときは、宿泊契約は成立しないものとします。

2.当ホテルは、前項の規定により宿泊契約が成立した場合には、宿泊期間の宿泊料金を限度とする予約金の支払いを求められます。

3.予約金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料に充当し、第6条の定める場合に該当するときは、同条の違約金に充当し、第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序に充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4.当ホテルが、インターネットサイト等に誤った宿泊料金を表示し、または電話で誤った宿泊料金をご案内し、当該宿泊料金に基づき、宿泊契約の予約の申込みをされ、当ホテルが承諾した場合で、当該料金が当ホテルの通常の宿泊料金に比べて著しく低廉な料金であるときは、当該料金及び宿泊契約の予約の申込みの承諾、それに基づく宿泊契約は民法第95条に定める「錯誤による法律行為」として取り消す旨を通知することがあります。この場合、宿泊契約の予約を申し込んだ方が当該通知を受け取ったときをもって当該宿泊契約及び宿泊契約の予約申込みは取り消されます。

予約金の支払いを要しないこととする特約

第4条

1.前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の予約金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2.宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の予約金の支払いを求めなかった場合及び当該予約金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

施設における感染防止対策への協力の求め

第4条の2

当ホテルは、宿泊しようとする人に対し、旅館業法(昭和23年法律第138号)第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

宿泊契約締結の拒否

第5条

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1)宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2)満室により客室の余裕がないとき。
- (3)宿泊しようとする人が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4)宿泊しようとする人が、次のイからハに該当すると認められるとき。
イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」といいます。)、同法第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」といいます。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
ハ 法人でその役員の中に暴力団員に該当する者があるもの
- (5)宿泊しようとする人が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6)宿泊しようとする人が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」といいます。)であるとき。
- (7)宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求

められたとき(宿泊しようとする人が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」といいます。))第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除きます。)

- (8)宿泊しようとする人が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であった他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (9)宿泊しようとする人が、過去に、SNS等に当ホテル又は当ホテルの役職員に関する誹謗、中傷、威嚇、又は炎上を目的とした投稿等を行い、当ホテルの運営の妨害、又は当ホテル及び当ホテルグループの信用及びブランドを毀損する行為を行ったと認められるとき。
- (10)天災、施設の故障、その他やむを得ない理由により宿泊させることができないとき。
- (11)都道府県条例に特に規定される場合に該当するとき。

宿泊契約締結の拒否の説明

第5条の2

宿泊しようとする人は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

宿泊客の契約解除権

第6条

1.宿泊客は、当ホテルに申し出て宿泊契約を解除することができます。

2.当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが予約金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払より前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務については、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3.当ホテルは、宿泊客が連絡しないで宿泊当日の到着予定時刻になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

当ホテルの契約解除権

第7条

1.当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

- (1)宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
- (2)宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
ハ 法人でその役員の中に暴力団員に該当する者があるもの
- (3)宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (4)宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
- (5)宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除きます。)
- (6)宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であった他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (7)宿泊客が、SNS等に当ホテル又は当ホテルの役職員に関する誹謗、中傷、威嚇、又は炎上を目的とした投稿等を行い、当ホテルの運営の妨害、若しくは当ホテル及び当ホテルグループの信用及びブランドを毀損する行為を行なったとき若しくはそのおそれがあるとき、又は過去に同様な行為を行なったと認められるとき。
- (8)天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (9)室内へのペットの持ち込み(但し身体障害者補助犬は除く)。
- (10)利用申込人数以上で利用したとき。
- (11)宿泊客として登録された以外の方が入室及び宿泊をしたとき。
- (12)都道府県条例に特に規定される場合に該当するとき。
- (13)寢室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。
- (14)お支払い指定日にお支払いがないとき。(この場合、宿泊客の手荷物等は、第16条2項を準用します。)

2.当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊契約解除の説明

第7条の2

宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

宿泊の登録

第8条

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先。
 - (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍、旅券番号及び旅券の写し。
 - (3) その他当ホテルが必要と認める事項。
2. 宿泊客が、第12条の料金の支払いを宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

客室の使用時間

第9条

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、当ホテルが定めるチェックイン時刻からチェックアウト時刻までとします。
2. 当ホテルは前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には当ホテルが定める追加料金を申し受けます。

利用規則の遵守

第10条

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

営業時間

第11条

1. 当ホテルの主な施設等の詳しい営業時間は備付けのパンフレット、各所の掲示、客室内のサービス説明書等でご案内いたします。
2. 前項の時間は必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせいたします。

料金の支払い

第12条

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際、又は当ホテルが請求した時にフロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

当ホテルの責任

第13条

当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが、当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

契約した客室の提供ができないとき

第14条

当ホテルは宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。

寄託物等の取扱い

第15条

宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに、貴重品について、当ホテルの故意又は重大な過失がない限り、滅失、毀損等の損害が生じた場合も当ホテルは責任を負いかねます。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

第16条

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合は、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者にその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示が無い場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含めて7日間保管し、その後貴重品については最寄りの警察署へ届け、その他の物品については処分させていただきます。(飲食物・雑誌・新聞に関しては即日処分させていただきます。)

駐車場の責任

第17条

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで

負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当ホテルの故意又は重大な過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

宿泊客の責任

第18条

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

その他

第19条

当ホテルに対する監査・調査のため当ホテルに当ホテルの管理の委託又は賃貸している者に対し、宿泊カードに記載された宿泊客の個人情報提供される場合があります。宿泊客はかかる個人情報の提供に同意します。

第20条

この約款に違背するような行為があり、万が一紛争が生じた場合には、その住所の如何にかかわらず東京地方裁判所を管轄裁判所とすることに同意するものとします。

第21条

天災地変その他当ホテルの責任のない理由により、当ホテルの全部又は一部が消滅又は破損して使用が不可能になった場合、宿泊契約は当然に終了します。

第22条

宿泊客と当ホテルとの宿泊契約は、日本法に準拠し、日本法に従って解釈されるものとします。

第23条

宿泊約款が複数の言語で作成されている場合に、各宿泊約款での記載に不一致、相違、矛盾その他の齟齬があるときは、日本語表記の宿泊約款の記載内容が優先するものとします。

別表第1 宿泊料金等の内訳(第2条第1項及び第12条第1項関係)

		内 訳
宿泊客が支払うべき	宿泊料金	①基本宿泊料(室料・又は室料+飲食料)
	追加料金	②飲食料及びその他の利用料金
総額	税金	③消費税及び地方税

備考 1. 基本宿泊料は当ホテルが提示する料金表によります。

別表第2 違約金(第6条第2項関係)

		契約解除の通知を受けた日			
契約人数		不泊	当日	前日	7日前
一般	14名まで	100%	80%	20%	—
団体	15名以上	100%	100%	50%	10%

備考 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

Scope of Application

Article 1

1. Accommodation Contracts and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest seeking accommodation are to be subject to the provisions of these Terms and Conditions for Accommodation Contracts. Any matters not provided for herein shall be subject to laws and regulations etc. ("laws and regulations etc." refers to laws, regulations, and ordinances based on laws and regulations; the same applies hereinafter) or generally-accepted practices.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, in the event that the Hotel has entered into a special contract with the Guest which does not violate laws and regulations etc. or generally-accepted practices, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Application for Accommodation Contracts

Article 2

1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1) Name of each person seeking accommodation;
 - (2) Accommodation dates and estimated time of arrival;
 - (3) Confirmation of the Accommodation Charge (as a general principle, this will be based upon the Basic Accommodation Charge as displayed in Table 1);
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. If the Guest applies during the course of his/her stay to extend his/her stay beyond the accommodation dates set out in Item (2) of the preceding Paragraph, the Hotel shall treat this as an application for a new Accommodation Contract at the time the request is made.

Conclusion of Accommodation Contracts etc.

Article 3

1. An Accommodation Contract shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, an Accommodation Contract shall not be deemed to have been concluded when the Hotel has not accepted the application.

2. When the Accommodation Contract has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel may request the Guest to pay an accommodation deposit, the amount being within the limit of the Accommodation Charge for the Guest's entire period of stay.

3. The deposit shall be allocated, firstly, to the payment of the Accommodation Charge to be paid finally by the Guest; it shall then be allocated to the payment of a cancellation charge under the provisions of Article 6 as applicable, and then to the payment of compensation under the provisions of Article 18 as applicable. The remainder, if any, shall be refunded at the time of payment of charges under the provisions of Article 12.

4. In the event that the Hotel displays an erroneous Accommodation Charge on an internet website etc. or proposes an erroneous Accommodation Charge via telephone, resulting in the Guest's applying to enter into an Accommodation Contract based on the Accommodation Charge in question and in the Hotel's accepting the application in question, and if the Accommodation Charge in question is noticeably lower in price than the normal Accommodation Charge of the Hotel, a notification voiding the Accommodation Charge in question, the approval of the application to enter into the Accommodation Contract in question and the Accommodation Contract based on this application may be issued based on the Civil Code, Article 95, on the grounds that this is a "juridical act based on a mistake." In this case, the Accommodation Contract in question and the Guest's application to enter into the Accommodation Contract in question shall be rendered void at the point when the Guest who has applied to enter into the Accommodation Contract receives the notification in question.

Special Contracts Requiring No Deposit

Article 4

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may, following the conclusion of the contract, enter into a special contract which does not require the payment of a deposit (as stipulated in the same Paragraph).

If the Hotel has not requested the payment of a deposit (as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article) and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time of accepting the application for an Accommodation Contract, this shall be treated as the Hotel's entering into a special contract as prescribed in the preceding Paragraph.

Requests for Cooperation with Infection Prevention Measures at Hotel Facilities

Article 4-2

The Hotel may request the cooperation of the Guest seeking accommodation with the provisions of the Hotel Business Act (Act No. 138, 1948), Article 4-2, Paragraph 1.

Refusal of Accommodation Contracts

Article 5

The Hotel may decide not to enter into the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances:

- (1) If the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) If the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3) If the Guest seeking accommodation is deemed liable to act in a manner that will contravene the provisions of laws and regulations, public order or good morals in regard to his/her accommodation;
- (4) If any of the following cases (<i> through <iii>) are applicable to the Guest seeking accommodation:
 - <i> The Guest is an organized crime group under the provisions of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77, 1991), Article 2, Item 2 (hereinafter referred to as "organized crime groups"), a member, quasi-member, or related person of an organized crime group (hereinafter referred to as "organized crime group members") under the provisions of the same Act, Article 2, Item 6, or any other kind of antisocial force.
 - <ii> The Guest is a corporate body or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or organized crime group member.
 - <iii> The Guest is a corporate body whose officers include an organized crime group

member.

- (5) If the Guest seeking accommodation has engaged in acts causing considerable nuisance to other guests;
- (6) If the Guest seeking accommodation is a person carrying a specified infectious disease under the provisions of the Hotel Business Act, Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 (hereinafter referred to a "specified infectious disease carrier");
- (7) If the Guest engages in violent demands in relation to accommodation or demands that the Hotel undertake burdens that are beyond reasonable limits (excluding cases in which the Guest seeking accommodation requests the elimination of social barriers under the provisions of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities (Act No. 65, 2013; hereinafter referred to as the "Disability Discrimination Act"), Article 7, Paragraph 2 and Article 8, Paragraph 2);
- (8) If the Guest seeking accommodation has repeatedly made demands which are stipulated in the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act, Article 5, Item 6 as being liable to significantly impede the provision of accommodation-related services to other guests due to the excessive burden imposed on the Hotel by the implementation of the demands in question;
- (9) If the Guest seeking accommodation is deemed to have in the past posted contents on social networking services (SNSs) etc. which have the objective of slandering, defaming, threatening or inciting negative comments regarding the Hotel or Hotel officers/employees, has impeded the operation of the Hotel or has engaged in acts which damage trust in or the brand of the Hotel or the Hotel Group;
- (10) If the Hotel is unable to provide accommodation due to natural disaster, infrastructure failures or other unavoidable causes;
- (11) If any circumstances provided for under particular prefectural ordinances are applicable.

Explanations for the Refusal of Accommodation Contracts

Article 5-2

In the event that the Hotel is unable to enter into an Accommodation Contract based on the preceding Article, the Guest seeking accommodation may demand an explanation of the reason(s).

The Right of the Guest to Cancel Contracts

Article 6

1. The Guest seeking accommodation may cancel the Accommodation Contract by applying to the Hotel.

2. In the event that the Guest seeking accommodation cancels the Accommodation Contract in its entirety or in part due to reasons attributable to the Guest (excluding cases in which the Hotel has stipulated the date of the payment of the deposit and demands its payment under the provisions of Article 3, Paragraph 2 and in which the Guest has cancelled the Accommodation Contract prior to the payment in question), the Hotel shall charge a cancellation charge as set out in Table 2. However, if the Hotel has entered into a special contract as provided for in Article 4, Paragraph 1, the above shall apply only if the Hotel, at the time of entering into the contract, informs the Guest seeking accommodation of the obligation to pay a cancellation charge in the event of cancellation of the Accommodation Contract by the Guest.

3. If the Guest fails to arrive by the expected arrival time on the accommodation date without notification by the Guest, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest and treat it accordingly.

The Right of the Hotel to Cancel Contracts

Article 7

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract in any of the following circumstances.

- (1) If the Guest is deemed liable to act and/or is deemed to have acted in a manner that contravenes the provisions of laws and regulations, public order or good morals in regard to his/her accommodation;
- (2) If any of the following cases (<i> through <iii>) are deemed applicable to the Guest seeking accommodation:
 - <i> The Guest is an organized crime group, a member, quasi-member, or related person of an organized crime group, or any other kind of antisocial force.
 - <ii> The Guest is a corporate body or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or organized crime group member.
 - <iii> The Guest is a corporate body whose officers include an organized crime group member.
- (3) If the Guest seeking accommodation has engaged in acts causing considerable nuisance to other guests;
- (4) If the Guest seeking accommodation is a specified infectious disease carrier;
- (5) If the Guest engages in violent demands in relation to accommodation or demands that the hotel undertake burdens that are beyond reasonable limits (excluding cases in which the Guest seeking accommodation requests the elimination of social barriers under the provisions of the Disability Discrimination Act, Article 7, Paragraph 2 and Article 8, Paragraph 2);
- (6) If the Guest seeking accommodation has repeatedly made demands which are stipulated in the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act, Article 5, Item 6 as being liable to significantly impede the provision of accommodation-related services to other guests due to the excessive burden imposed on the Hotel by the implementation of the demands in question;
- (7) If the Guest seeking accommodation has posted contents on SNSs etc. which have the objective of slandering, defaming, threatening or inciting negative comments regarding the Hotel or Hotel officers/employees, has impeded the operation of the Hotel or has engaged in acts which damage trust in or the brand of the Hotel or the Hotel Group, has been deemed liable to carry out such acts or is deemed to have carried out similar acts in the past;
- (8) If it is impossible to accommodate the Guest due to reasons originating from force majeure, such as natural disasters;
- (9) If the Guest brings pets into the Hotel rooms (excluding assistance dogs for disabled persons);
- (10) If the number of persons proposing to use facilities exceeds the number stated in the application;
- (11) If a person not registered as a guest seeking accommodation enters and stays in a Hotel room;
- (12) If any circumstances provided for under particular prefectural ordinances are applicable;

(13) If the Guest fails to observe prohibitions on smoking in bed in the guest room or interfering with fire-prevention installations etc. or other prohibitions stipulated by the Hotel concerning the use of facilities (limited to measures necessary to prevent fires);
 (14) If the Guest fails to perform a payment by the stipulated payment date. (In this case, the provisions of Article 16, Paragraph 2 shall apply mutatis mutandis to the baggage etc. of the Guest seeking accommodation.)
 2. If the Hotel cancels the Accommodation Contract in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest seeking accommodation shall not be charged for accommodation services etc. which he/she has not yet received.

Explanations of Cancellations of the Accommodation Contract

Article 7-2

In the event that the Hotel is unable to conclude an Accommodation Contract based on the preceding Article, the Guest seeking accommodation may demand an explanation of the reason(s).

Registration of Accommodation

Article 8

1. The Guest seeking accommodation shall register the following particulars at the reception desk of the Hotel on the starting accommodation date:
 (1) Name, address and contact details of each guest seeking accommodation;
 (2) (For each non-Japanese national who does not possess an address in Japan) Nationality, passport number and a copy of the Guest's passport;
 (3) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
 2. If the Guest intends to pay the charges stipulated in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as accommodation vouchers or credit card, these items shall be presented to the reception desk in advance at the time of registration in accordance with the preceding Paragraph.

Occupancy Hours for Guest Rooms

Article 9

1. The Guest seeking accommodation is entitled to occupy the guest room of the Hotel from the time of the check-in until the time of the check-out stipulated by the Hotel.
 2. Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel may permit the Guest to occupy the room beyond the time stipulated in the same Paragraph. In this case, additional charges stipulated by the Hotel shall be charged.

Observance of Rules of Conduct

Article 10

The Guest seeking accommodation shall observe the rules of conduct stipulated by and displayed within the Hotel while on Hotel premises.

Business Hours

Article 11

1. The business hours of the main facilities of the Hotel shall be made known in detail via pamphlets provided at the facility, notices posted in various parts of the Hotel and the directories of services provided in guest rooms etc.
 2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary change when such changes are unavoidable. In such cases, such changes shall be notified via appropriate methods.

Payment of Charges

Article 12

1. The breakdown of the Accommodation Charge which the Guest seeking accommodation must pay shall be as set out in Table 1.
 2. The payment of the Accommodation Charge stipulated in the preceding Paragraph shall be carried out using Japanese currency or methods accepted by the Hotel in lieu of Japanese currency such as accommodation vouchers or credit card, with the Guest seeking accommodation required to carry out such payment at the reception desk upon arrival at the Hotel or when billed by the Hotel.
 3. The Accommodation Charge shall be charged even in the event that the Guest chooses not to utilize the guest room which has been provided for him/her by the Hotel and is at his/her disposal.

Liabilities of the Hotel

Article 13

In the event of any damages being suffered by the Guest seeking accommodation as a result of the Hotel's fulfillment of the Accommodation Contract or related agreements, or as a result of the Hotel's failure to fulfill the same, the Hotel shall pay compensation to the Guest for said damages. However, the same shall not apply in the event that such damages result from reasons not attributable to the Hotel.

When the Hotel is Unable to Provide Guest Rooms According to the Contract

Article 14

If the Hotel is unable to provide the contracted guest rooms to the Guest seeking accommodation, the Hotel shall, after obtaining the understanding of the Guest, arrange accommodation at another accommodation facility on similar terms insofar as this is possible.

Handling of deposited articles

Article 15

The Hotel shall not take responsibility for damages such as the loss of or damage to articles, money or other valuables which the Guest seeking accommodation may bring onto the hotel premises, providing that such loss or damage does not occur as a result of the Hotel's wilful misconduct or gross negligence.

Storage of Baggage and Belongings of the Guest seeking Accommodation

Article 16

1. In the event that the baggage of the Guest seeking accommodation arrives at the Hotel in advance of the Guest, the Hotel shall take responsibility for storing said baggage and handing it to the Guest at the reception desk at his/her check-in, only if the Hotel has agreed to such responsibilities prior to the arrival of the articles in question.
 2. In the event that baggage and belongings of the Guest seeking accommodation are left

unattended in the Hotel after his/her check-out, and if the owner of said baggage and belongings is identified, the Hotel shall ask for instructions from the owner in question. However, in the event that the owner fails to provide instructions or cannot be identified, the Hotel shall store said baggage and belongings for seven (7) days (including the date of discovery), following which the Hotel shall deliver any valuables to the nearest police station, and dispose of any remaining articles. (However, any food/beverages, magazines and newspapers shall be disposed of upon the day of discovery.)

Parking Liability

Article 17

When the Guest seeking accommodation utilizes the parking lot of the Hotel, the Hotel shall accept no responsibility for the management of the vehicle regardless of whether a key is deposited, on the grounds that the Hotel is merely loaning the space for parking. However, the Hotel shall accept responsibility for compensation in the event of the Guest suffering any damages as a result of the Hotel's wilful misconduct or gross negligence in management of the parking lot.

Liabilities of the Guest

Article 18

In the event that the Hotel suffers damages as a result of the wilful misconduct or gross negligence of the Guest seeking accommodation, the Guest in question shall pay compensation to the Hotel for said damages.

Other Matters

Article 19

The Hotel may require the personal information of the Guest seeking accommodation stated on his/her hotel registration form to be provided to those persons engaged in the contracting of management work or the leasing of the building to the Hotel, for the purpose of auditing or surveying the Hotel. The consent of the Guest seeking accommodation shall be obtained regarding the personal information in question.

Article 20

In the event of any breaches of these Terms and Conditions or in the event that any dispute arises, it is agreed that such a dispute shall be referred to the exclusive jurisdiction of Tokyo District Court, regardless of the location of said dispute.

Article 21

In the event that the Hotel is destroyed or damaged in its entirety or in part and rendered unusable due to natural disaster or other reasons not attributable to the Hotel, this Accommodation Contract shall be terminated as a matter of course.

Article 22

The Accommodation Contract between the Guest seeking accommodation and the Hotel shall be governed by and construed in accordance with the laws of Japan.

Article 23

In the event that other versions of these Terms and Conditions for Accommodation Contracts are created in multiple languages and any discrepancies, differences, contradictions or other inconsistencies are found among the different versions of these Terms and Conditions for Accommodation Contracts, the contents of the Japanese-language version of these Terms and Conditions for Accommodation Contracts shall take priority over any others.

Table 1: Breakdown of the Accommodation Charge (in relation to Article 2, Paragraph 1 and Article 12, Paragraph 1)

		Breakdown
Total sum to be paid by the person seeking accommodation	Accommodation Charge	<1> Basic Accommodation Charge (room charge, or room charge + food & beverage charge)
	Additional charges	<2> Food & beverage charge and other usage charges
	Tax	<3> Consumption tax and local taxes

Note: The Basic Accommodation Charge is based on the table of fees displayed by the Hotel.

Table 2: Cancellation charges (in relation to Article 6, Paragraph 2)

Date when Cancellation of Contract is Noticed	No. of persons covered by the contract	No-show	Accommodation Day	1 Day Prior to Accommodation Day	7 Days Prior to Accommodation Day
		100%	80%	20%	—
Regular reservations	14 or fewer guests	100%	80%	20%	—
Group reservations	15 or more guests	100%	100%	50%	10%

Notes :

- The percentages (%) stated here refer to the extent of the cancellation charge as a percentage of the Basic Accommodation Charge.
- If the number of contracted days is reduced, the Hotel shall receive a cancellation charge for one day (the first day), regardless of the number of days by which the period is reduced.

住宿条款

适用范围

第1条

1. 本酒店与住客之间签订的住宿协议、以及与此相关的协议均应基于本条款规定，本条款中未尽事宜则遵循法令等(指法令或基于法令的规定。以下相同。)和惯例。
2. 本酒店在未违反法令等及惯例的范围内签订了附加条款时，可忽略前项规定而优先以该附加条款为准。

住宿协议的申请

第2条

1. 欲向本酒店申请签订住宿协议者，应将以下事项告知本酒店。
(1) 入住者姓名
(2) 入住日期及预计抵达时间
(3) 住宿费(原则上以另表1的基本住宿费为准。)
(4) 本酒店认为必要的其他事项
2. 若入住者在其逗留期间于前项第2号中所述入住日期之后申请延长住宿时间，本酒店在受理该申请时则将其视为新建住宿协议申请。

住宿协议的成立等

第3条

1. 住宿协议自本酒店批准前项申请起开始生效。而本酒店未批准上述申请时，则视住宿协议不成立。
2. 根据前项规定，在住宿协议成立的前提下，本酒店将会以住宿期间的住宿费为限额收取订金。
3. 订金将首先用于支付入住者结算应付的住宿费，其次在符合第6条所定情况、发生第18条所定事态时依次充当违约金、赔偿金，若有余额，则根据第12条规定在支付住宿费时退还。
4. 本酒店在网站等所示住宿费和电话中所述住宿费有误、基于该住宿费而提交了住宿协议预订申请且本酒店已批准时，若该费用明显低于本酒店的住宿收费标准，该费用及住宿协议的预订申请批准、基于该申请的住宿协议可能被视为民法第95条所定“错误所致法律行为”而通知取消。这种情况下，在提交住宿协议申请者收到该通知时即视为该住宿协议和住宿协议预订申请已被取消。

无需支付订金的附加条款

第4条

1. 本酒店可能会忽略前条第2项规定而在协议成立后另行签订无需支付该项中所定订金的附加条款。
2. 在批准住宿协议申请时，若本酒店未要求支付前条第2项规定的订金、且未指定该订金的支付期限，则视为以前项的附加条款为准。

需协助设施内预防传染病对策的实施

第4条之2

根据旅馆业法(1948年法律第138号)第4条之2的第1项规定，本酒店可要求欲入住者给予协助。

住宿协议的拒签

第5条

若发生下述任一情况，本酒店均可拒签住宿协议。
(1) 住宿申请不符合此条款规定时。
(2) 客房住满而无法提供空闲客房时。
(3) 欲入住者被视为可能存在违反入住相关法令规定、公序良俗或行为时。
(4) 欲入住者被明确认定符合下述A至C的情况时。
A 防止黑社会团伙成员非法行为等相关法律(1991年第77号法令)第2条第2号所定黑社会团伙(以下简称“黑社会团伙”)、上述法令第2条第6号所定黑社会团伙成员(以下简称“黑社会团伙成员”)、黑社会团伙预备成员或黑社会团伙相关人员等其他反社会势力。
B 由黑社会团伙或黑社会团伙成员统管事业活动的法人及其他团伙。
C 法人、且其董事中存在黑社会团伙成员。
(5) 欲入住者出现严重干扰其他入住者的言行。
(6) 欲入住者为旅馆业法第4条之2第1项第2号所定特定传染病患者等(以下简称“特定传染病患者等”)。
(7) 欲入住者提出住宿相关的非合理要求、或要求超出合理范围而给酒店带来负担(欲入住者根据加速消灭以残疾为理由的歧视相关法律(2013年法律第65号。以下简称“残疾人歧视消灭法”。)第7条第2项或第8条第2项规定要求消除社会屏障时除外)。
(8) 欲入住者反复向本酒店提出旅馆业法施行规则第5条之6中所定的、在实施时可能带来沉重负担而严重妨碍向其他入住者提供住宿相关服务的要求时。
(9) 欲入住者曾在SNS等上发布以诽谤、中伤、威胁、或网暴本酒店或本酒店要职人员相关帖子等，被认定存在妨碍本酒店运营、或损坏本酒店和本酒店集团信誉及品牌形象的行为时。

(10) 本酒店因天灾、设施故障及其他不可避免的原因而无法提供住宿时。
(11) 符合都道府县条例中特别强调的规定时。

住宿协议拒签说明

第5条之2

若本酒店根据前条规定拒签住宿协议，欲入住者可要求本酒店说明拒签理由。

入住者的解约权

第6条

1. 入住者有权向本酒店提出解除住宿协议的要求。
2. 因入住者原因而解除全部或部分住宿协议(本酒店根据第3条第2项规定指定订金支付日期并要求支付相关款项、而入住者在支付该款项前解除住宿协议时除外。)时，将按另表2所示收取违约金。但是，若签订了第4条第1项的附加条款，本酒店则按该附加条款规定，仅限在本酒店已告知入住者时，入住者方需履行解除住宿协议时的违约金支付义务。
3. 若入住者在无任何联系的情况下未能按预计抵达时间准时抵达，本酒店将视该住宿协议已被入住者解除。

本酒店的解约权

第7条

1. 若符合下述任一情况，本酒店均可解除住宿协议。
(1) 本酒店认为入住者可能存在违反入住相关法令规定、公序良俗的行为、或类似行为时。
(2) 本酒店认为入住者符合下述A至C的情况时。
A 入住者为黑社会团伙、黑社会团伙成员、黑社会团伙预备成员或黑社会团伙相关人员等反社会势力
B 由黑社会团伙或黑社会团伙成员统管事业活动的法人及其他团伙。
C 法人、且其董事中存在黑社会团伙成员。
(3) 入住者出现严重干扰其他入住者的言行时。
(4) 入住者为特定传染病患者等时。
(5) 入住者提出住宿相关的非合理要求、或要求超出合理范围而给酒店带来负担(入住者根据残疾人歧视消灭法第7条第2项或第8条第2项规定要求消除社会屏障时除外)。
(6) 入住者反复向本酒店提出旅馆业法施行规则第5条之6中所定的、在实施时可能带来沉重负担而严重妨碍向其他入住者提供住宿相关服务的要求时。
(7) 入住者在SNS等上发布以诽谤、中伤、威胁、或网暴本酒店或本酒店要职人员相关帖子等，被认定存在或可能存在妨碍本酒店运营、或损坏本酒店和本酒店集团信誉及品牌形象的行为、或曾经出现过相同行为时。
(8) 酒店因天灾等不可抗力而无法提供住宿时。
(9) 将宠物带入客房(但残疾人辅助犬除外)。
(10) 利用人数超出申请人数时。
(11) 未作为入住者登记的人进入客房并住宿时。
(12) 符合都道府县条例中特别强调的规定时。
(13) 入住者未遵守禁止在客房床上吸烟、损害消防设备等及其他本酒店所定利用规则的禁止事项(仅限防火必需事项)时。
(14) 未在指定付款日付款时。
(这种情况下，入住者的随身行李等将按第16条第2项规定处理。)
2. 本酒店基于前项规定解除住宿协议时，不会收取入住者尚未享用的住宿服务等费用。

住宿协议解除说明

第7条之2

若本酒店根据前条规定解除住宿协议，入住者可要求本酒店说明解除理由。

住宿登记

第8条

1. 入住者应于住宿日当天在本酒店前台登记以下事项。
(1) 入住者姓名、地址和联系方式。
(2) 无日本国内居住地址的外籍人士需填写国籍、护照号码并提交护照复印件。
(3) 本酒店认为必要的其他事项。
2. 若入住者欲以住宿券、信用卡等非现金方式支付第12条规定的费用，则需在办理前项所定登记时预先出示上述支付方式所需卡券等。

客房利用时间

第9条

1. 入住者可使用本酒店客房的时间为本酒店规定的入住日时间至退房时间。
2. 本酒店可能会忽略前项规定，允许入住者在前项所定时间以外入住客房。这种情况下，入住者需支付本酒店规定的额外费用。

遵守利用规则

第10条

入住者在本酒店内时，应遵守本酒店所定并张贴于酒店内的利用规则。

营业时间

第11条

1. 本酒店主要设施等具体营业时间可通过备置的宣传册、各处标示、客房内的服务说明书等方式进行查看。
2. 前项的时间可能会因不得已的原因而临时变更。这种情况下，本酒店将通过适当的方法进行通知。

费用的支付

第12条

1. 入住者应付住宿费等明细如另表1所示。
2. 前项所述的住宿费可通过现金或本酒店认可的住宿券、信用卡等替代方式，在入住者抵达或本酒店要求付款时于前台进行结算。
3. 本酒店在为入住者提供客房并确保可正常使用后，即使入住者因自身原因而未入住，也需支付住宿费。

本酒店的责任

第13条

本酒店在因履行或不履行住宿协议及其相关协议而使入住者遭受损失时，将向入住者赔偿所造成的损失。但是，若损失原因非本酒店所致，则不受此限。

无法提供协议所定客房时

第14条

本酒店在无法向入住者提供协议所定的客房时，将会在征得入住者同意的的前提下，尽量为入住者安排同样标准的其他住宿设施。

寄存物品等管理

第15条

入住者带入本酒店的物品或现金及贵重物品并非本酒店故意或重大过失而导致丢失、损毁等损失时，本酒店概不负责。

入住者随身行李或物品的保管

第16条

1. 入住者随身行李在入住前送达本酒店时，仅限本酒店在该些行李送达前已许可的情况下才会负责保管，并在入住者前往前台办理入住手续时转交于入住者。
2. 在入住者办理退房手续后发现其随身行李或物品遗忘在本酒店时，若能查明物主，本酒店将联系该物主并向其征询处理方式。但是，若物主无任何指示或无法查明物主，则会自发现日起保管7天，之后会将贵重物品送至附近的警察署，其他物品则进行销毁。（饮食类/杂志/报纸将于当天销毁。）

停车的责任

第17条

入住者在使用本酒店的停车场时，无论有无办理车辆钥匙的寄存，本酒店只负责提供停车场而不承担车辆管理责任。但是，若本酒店在执行停车场管理中因故意或重大过失而使入住者车辆遭受损失，本酒店将承担赔偿责任。

入住者的责任

第18条

因入住者故意或过失而导致本酒店遭受损失时，该入住者应向本酒店赔偿该损失。

其他

第19条

住宿卡上记载的入住者个人信息可能会被提供于对本酒店进行监查、调查的本酒店管理受托或出租单位。入住者同意提供相关个人信息。

第20条

出现违反本条款规定的行为、万一发生纠纷时，无论住所何处均同意将东京地方法院作为管辖法院。

第21条

因天灾地变或其他非本酒店责任而导致本酒店整体或部分报废或受损而无法使用时，住宿协议随即终止。

第22条

入住者与本酒店之间的住宿协议以日本法为依据，并根据日本法进行解释。

第23条

住宿条款制成多种语言版本时，若各住宿条款中的记述内容存在不一致、不符、矛盾及其他差异，则优先以日语版住宿条款的记述内容为准。

另表1 住宿费等明细(第2条第1项及第12条第1项相关)

		明 细
入住者	住宿费	①基本住宿费(房费/或房费+餐饮费)
应付	额外费用	②餐饮费及其他利用费用
总额	税 金	③消费税和地方税

备注1. 基本住宿费依照本饭店提供的房价表。

另表2 违约金(第6条第2项相关)

		解约通知接收日期			
签约人数		未入住	当天	前一天	7天前
普通	最多14人	100%	80%	20%	—
团体	15人以上	100%	100%	50%	10%

备注 1. %表示违约金在基本住宿费中所占比率。

2. 协议所定住宿天数缩短时，无论缩短几天，都只收取1天(第1天)的违约金。

숙박 약관

적용 범위

제1조

1. 당 호텔이 숙박객과 체결한 숙박 계약 및 이와 관련한 계약은 이 약관에서 규정하는 바에 따르는 것으로 하며, 이 약관에 규정되지 않은 사항에 대해서는 법령 등(법령 또는 법령에 기초한 것을 말합니다. 이하 동일.) 또는 일반적으로 확립된 관습에 따르는 것으로 합니다.
2. 당 호텔이 법령 등 및 관습에 반하지 않는 범위에서 특약에 응한 경우는 전항의 규정에도 불구하고 그 특약이 우선하는 것으로 합니다.

숙박 계약의 신청

제2조

1. 당 호텔에 숙박 계약을 신청하고자 하는 자는 다음 사항을 당 호텔에 알려야 합니다.
 - (1) 숙박자명
 - (2) 숙박일 및 도착 예정 시간
 - (3) 숙박 요금(원칙적으로 별표1의 기본 숙박료를 따릅니다.)
 - (4) 기타 당 호텔이 필요한 것으로 인정한 사항
2. 숙박객이 숙박 중에 전항 제2호의 숙박일을 초과하여 숙박을 계속할 의사를 알린 경우, 당 호텔은 그 의사를 알린 시점에 새로운 숙박 계약을 신청한 것으로 처리합니다.

숙박 계약의 성립 등

제3조

1. 숙박 계약은 당 호텔이 전조의 신청을 승낙하였을 때 성립하는 것으로 합니다. 또한 당 호텔이 승낙을 하지 않았을 때에는 숙박 계약이 성립하지 않는 것으로 합니다.
2. 당 호텔은 전항의 규정에 따라 숙박 계약이 성립한 경우, 숙박 기간의 숙박 요금을 한도로 하는 예약금의 지불을 요구하는 경우가 있습니다.
3. 예약금은 우선 숙박객이 최종적으로 지불해야 할 숙박료를 총당하고, 제6조에 규정된 경우에 해당할 때에는 동조의 위약금을 총당하고, 제18조의 규정을 적용할 사태가 발생하였을 때에는 위약금에 이어 배상금의 순서로 총당하며, 잔액이 있을 경우 제12조의 규정에 따른 요금 지불 시에 반환합니다.
4. 당 호텔이 인터넷 사이트 등에 잘못된 숙박 요금을 표시하거나 혹은 전화로 잘못된 숙박 요금을 안내함으로써, 해당 숙박 요금에 기초하여 숙박 계약의 예약을 신청 받은 후 당 호텔이 승낙한 경우, 해당 요금이 당 호텔의 통상적인 숙박 요금에 비해 현저히 저렴한 요금일 때에는 해당 요금 및 숙박 계약의 예약 신청의 승낙, 이에 기초한 숙박 계약은 민법 제95조에서 규정하는 '착오로 인한 법률 행위'로서 취소 의사를 통지하는 경우가 있습니다. 그 경우, 숙박 계약의 예약을 신청한 분이 해당 통지를 받은 시점에 해당 숙박 계약 및 숙박 계약의 예약 신청은 취소됩니다.

예약금을 지불하지 않아도 되는 것으로 하는 특약

제4조

1. 전조 제2항의 규정에도 불구하고, 당 호텔은 계약이 성립된 후 동항의 예약금을 지불하지 않아도 되는 것으로 하는 특약에 응하는 경우가 있습니다.
2. 숙박 계약의 신청을 승낙할 때 당 호텔이 전조 제2항의 예약금 지불을 요구하지 않은 경우 및 해당 예약금의 지불 기일을 지정하지 않은 경우는 전항의 특약에 응한 것으로 취급합니다.

시설에서의 감염 방지 대책에 대한 협력 요청

제4조의 2

당 호텔은 숙박하고자 하는 사람에게 여관업법(1948년 법률 제138호) 제4조의 2 제1항의 규정에 따른 협력을 요청할 수 있습니다.

숙박 계약 체결의 거부

제5조

당 호텔은 다음에 열거한 경우, 숙박 계약의 체결에 응하지 않는 경우가 있습니다.

- (1) 숙박의 신청이 이 약관에 따르지 않을 때.
- (2) 만사로 인해 객실에 여유가 없을 때.
- (3) 숙박하고자 하는 사람이 숙박에 관하여 법령의 규정, 공공의 질서 혹은 미풍양속에 반하는 행위를 할 우려가 있는 것으로 인정될 때.
- (4) 숙박하고자 하는 사람이 다음의 가~다에 해당하는 것으로 인정될 때.
 - 가 폭력단원에 의한 부당한 행위의 방지 등에 관한 법률(1991년 법률 제77호) 제2조 제2호에 규정된 폭력단원(이하, '폭력단'이라 합니다.), 동법 제2조 제6호에 규정된 폭력단원(이하, '폭력단원'이라 합니다.), 폭력단 준구성원 또는 폭력단 관계자, 및 기타 반사회적 세력

나 폭력단 또는 폭력단원이 사업 활동을 지배하는 법인 또는 기타 단체일 때

다 법인으로서 그 임원 중에 폭력단원에 해당하는 자가 있는 것

(5) 숙박하고자 하는 사람이 다른 숙박객에게 현저히 폐를 끼치는 언행을 하였을 때.

(6) 숙박하고자 하는 사람이 여관업법 제4조의 2 제1항 제2호에 규정된 특정 감염증의 환자 등(이하, '특정 감염증의 환자 등'이라 합니다.)일 때.

(7) 숙박에 관하여 폭력적 요구 행위를 하였거나 또는 합리적인 범위를 초월하는 부담을 요구하였을 때. (숙박하고자 하는 사람이 장애를 이유로 하는 차별 해소의 추진에 관한 법률(2013년 법률 제65호. 이하, '장애차별해소법'이라 합니다.) 제7조 제2항 또는 제8조 제2항의 규정에 따라 사회적 장벽의 제거를 요구하는 경우는 제외합니다.)

(8) 숙박하고자 하는 사람이 당 호텔에 대해, 그 실시에 수반되는 부담이 과중하여 다른 숙박자에 대한 숙박에 관한 서비스의 제공을 현저히 저해할 우려가 있는 요구로서 여관업법 시행규칙 제5조의 6에 규정된 것을 반복하였을 때.

(9) 숙박하고자 하는 사람이 과거에 SNS 등에 당 호텔 또는 당 호텔의 임직원에게 관한 비방, 중상, 위협, 또는 악성 댓글의 쇄도를 목적으로 한 투고 등을 함으로써 당 호텔의 운영을 방해하거나 또는 당 호텔 및 당 호텔 그룹의 신용 및 브랜드를 훼손하는 행위를 한 것으로 인정될 때.

(10) 천재, 시설의 고장, 기타 어쩔 수 없는 이유로 인해 숙박시키는 것이 불가능할 때.

(11) 도도부천 조례에 특별히 규정된 경우에 해당할 때.

숙박 계약 체결 거부의 설명

제5조의 2

숙박하고자 하는 사람은 당 호텔에 대해, 당 호텔이 전조에 기초하여 숙박 계약의 체결에 응하지 않는 경우, 그 이유의 설명을 요구할 수 있습니다.

숙박객의 계약 해지권

제6조

1. 숙박객은 당 호텔에 의사를 전하여 숙박 계약을 해지할 수 있습니다.
2. 당 호텔은 숙박객이 자신의 귀책 사유에 해당하지 않는 사유로 인해 숙박 계약의 전부 또는 일부를 해지한 경우(제3조 제2항의 규정에 따라 당 호텔이 예약금 지불 기일을 지정하여 그 지불을 요청한 경우로서, 그 지불보다 먼저 숙박객이 숙박 계약을 해지하였을 때를 제외합니다.)는 별표2에 열거한 바에 따라 위약금을 받습니다. 단, 당 호텔이 제4조 제1항의 특약에 응한 경우는, 그 특약에 응할 시에 숙박객이 숙박 계약을 해지하였을 때의 위약금 지불 의무에 대해 당 호텔이 숙박객에게 고지한 경우에 한합니다.
3. 당 호텔은 숙박객이 연락 없이 숙박 당일의 도착 예정 시간이 되어도 도착하지 않을 경우, 그 숙박 계약은 숙박객에 의해 해지된 것으로 간주하여 처리하는 경우가 있습니다.

당 호텔의 계약 해지권

제7조

1. 당 호텔은 다음에 열거하는 경우, 숙박 계약을 해지하는 경우가 있습니다.

(1) 숙박객이 숙박에 관하여 법령의 규정, 공공의 질서 혹은 미풍양속에 반하는 행위를 할 우려가 있는 것으로 인정될 때, 또는 그러한 행위를 한 것으로 인정될 때.

(2) 숙박객이 다음의 가~다에 해당하는 것으로 인정될 때.

- 가 폭력단, 폭력단원, 폭력단 준구성원 또는 폭력단 관계자, 및 기타 반사회적 세력

나 폭력단 또는 폭력단원이 사업 활동을 지배하는 법인 또는 기타 단체일 때

다 법인으로서 그 임원 중에 폭력단원에 해당하는 자가 있는 것

(3) 숙박객이 다른 숙박객에게 현저히 폐를 끼치는 언행을 하였을 때.

(4) 숙박객이 특정 감염증의 환자 등일 때.

(5) 숙박에 관하여 폭력적 요구 행위를 하였거나 또는 합리적인 범위를 초월하는 부담을 요구하였을 때. (숙박객이 장애차별해소법 제7조 제2항 또는 제8조 제2항의 규정에 따라 사회적 장벽의 제거를 요구하는 경우는 제외합니다.)

(6) 숙박객이 당 호텔에 대해, 그 실시에 수반되는 부담이 과중하여 다른 숙박자에 대한 숙박에 관한 서비스의 제공을 현저히 저해할 우려가 있는 요구로서 여관업법 시행규칙 제5조의 6에 규정된 것을 반복하였을 때.

(7) 숙박객이 SNS 등에 당 호텔 또는 당 호텔의 임직원에게 관한 비방, 중상, 위협, 또는 악성 댓글의 쇄도를 목적으로 한 투고 등을 함으로써 당 호텔의 운영을 방해하거나 혹은 당 호텔 및 당 호텔 그룹의 신용 및 브랜드를 훼손하는 행위를 하였을 때 혹은 그러한 우려가 있을 때, 또는 과거에 유사한 행위를 한 것으로 인정될 때.

(8) 천재 등 불가항력에 기인하는 사유로 인해 숙박시키는 것이

불가능할 때.

- (9)실내에 반려동물을 동반하였을 때. (단, 신체장애자 보조건은 제외)
 - (10)이용 신청 인원수 이상이 이용하였을 때.
 - (11)숙박객으로 등록된 분 이외의 분이 입실 및 숙박하였을 때.
 - (12)도도무현 조례에 특별히 규정된 경우에 해당할 때.
 - (13)침실에서 누워서 담배를 피우거나 소방용 설비 등에 대해 장난을 하는 행위, 및 기타 당 호텔이 규정하는 이용 규칙의 금지사항(화재 예방상 필요한 것에 한함.)을 따르지 않을 때.
 - (14)지불 지정일에도 지불을 하지 않을 때. (이 경우, 숙박객의 수하물 등은 제16조 2항을 준용합니다.)
2. 당 호텔이 전항의 규정에 기초하여 숙박 계약을 해지한 경우, 숙박객이 아직 제공받지 않은 숙박 서비스 등의 요금은 받지 않습니다.

숙박 계약 해지의 설명

제7조의 2

숙박객은 당 호텔에 대해, 당 호텔이 전조에 기초하여 숙박 계약을 해지한 경우, 그 이유의 설명을 요구할 수 있습니다.

숙박의 등록

제8조

1. 숙박객은 숙박일 당일에 당 호텔의 프런트에서 다음 사항을 등록합니다.
- (1)숙박객의 성명, 주소 및 연락처.
 - (2)일본 국내에 주소가 없는 외국인은 국적, 여권 번호 및 여권 사본.
 - (3)기타 당 호텔이 필요한 것으로 인정할 사항.
2. 숙박객이 제12조의 요금 지불을 숙박권, 신용카드 등 화폐를 대신할 수 있는 방법에 의해 실시하고자 할 경우, 미리 전항의 등록 시에 그 의사를 표시합니다.

객실의 사용 시간

제9조

1. 숙박객이 당 호텔의 객실을 사용할 수 있는 시간은 당 호텔이 정하는 체크인 시간부터 체크아웃 시간까지로 합니다.
2. 당 호텔은 전항의 규정에 불구하고, 동항에 규정된 시간 외의 객실 사용에 응하는 경우가 있습니다. 그 경우, 당 호텔이 정하는 추가 요금을 받습니다.

이용 규칙의 준수

제10조

숙박객은 당 호텔 내에서는 당 호텔이 규정하여 호텔 내에 게시한 이용 규칙을 따라야 합니다.

영업 시간

제11조

1. 당 호텔의 주요 시설 등의 자세한 영업 시간은 비치된 팸플릿, 각처의 게시물, 객실 내의 서비스 설명서 등을 통해 안내합니다.
2. 전항의 시간은 필요하여 어쩔 수 없는 경우, 임시로 변경하는 경우가 있습니다. 그 경우, 적당한 방법을 통해 안내합니다.

요금의 지불

제12조

1. 숙박자가 지불해야 할 숙박 요금 등의 내역은 별표1에 정리한 바에 따릅니다.
2. 전항의 숙박 요금 등은 화폐 또는 당 호텔이 인정한 숙박권, 신용카드 등, 및 이를 대신할 수 있는 방법에 의해 숙박객이 도착하였을 때 또는 당 호텔이 청구하였을 때 프런트에서 지불합니다.
3. 당 호텔이 숙박객에게 객실을 제공하고 사용이 가능해진 후에 숙박객이 임의로 숙박하지 않은 경우에도 숙박 요금은 받습니다.

당 호텔의 책임

제13조

당 호텔은 숙박 계약 및 이와 관련한 계약을 이행할 때 또는 이를 이행하지 않음으로써 숙박객에게 손해를 가한 경우, 그 손해를 배상합니다. 단, 그것이 당 호텔의 귀책 사유로 인한 것이 아닌 경우는 예외로 합니다.

계약한 객실을 제공할 수 없을 때

제14조

당 호텔은 숙박객에게 계약한 객실을 제공할 수 없을 경우, 숙박객에게 양해를 구하고 가능한 한 동일한 조건의 다른 숙박 시설을 알선하는 것으로 합니다.

기탁물 등의 취급

제15조

숙박객이 당 호텔 내에 반입한 물품 또는 현금 및 귀중품에 대하여, 당

호텔의 고의 또는 중대한 과실이 없는 한 멸실, 훼손 등의 손해가 발생하더라도 당 호텔은 책임을 지지 않습니다.

숙박객의 수하물 또는 휴대품의 보관

제16조

1. 숙박객의 수하물이 숙박에 앞서 당 호텔에 도착한 경우는 그 도착 전에 당 호텔이 양해한 경우에 한하여 책임지고 보관하며, 숙박객이 프런트에서 체크인할 때 전해 드립니다.
2. 숙박객이 체크아웃한 후에 숙박객의 수하물 또는 휴대품이 당 호텔에 남아 있는 경우, 그 소유자가 판명된 경우는 당 호텔은 해당 소유자에게 그 지시를 요구하는 것으로 합니다. 단, 소유자의 지시가 없는 경우 또는 소유자가 판명되지 않는 경우는 발견일을 포함해 7일간 보관하며, 그 후 귀중품은 가까운 경찰서로 가져가고 그 외의 물품은 처분합니다. (음식물, 잡지, 신문은 즉시 처분합니다.)

주차의 책임

제17조

숙박객이 당 호텔의 주차장을 이용하는 경우, 차량 열쇠의 기탁 여부를 불문하고 당 호텔은 장소를 빌려주는 데 그치며 차량의 관리 책임까지 지는 것은 아닙니다. 단, 주차장을 관리할 때, 당 호텔의 고의 또는 중대한 과실로 인해 손해를 가한 경우에는 그 배상의 책임을 집니다.

숙박객의 책임

제18조

숙박객의 고의 또는 과실로 인해 당 호텔이 손해를 입은 경우, 해당 숙박객은 당 호텔에 대해 그 손해를 배상합니다.

기타

제19조

당 호텔에 대한 감사 또는 조사를 위해 당 호텔에 당 호텔의 관리를 위탁하였거나 또는 임대한 자에게 숙박 카드에 기재된 숙박객의 개인정보가 제공되는 경우가 있습니다. 숙박객은 이러한 개인정보의 제공에 동의합니다.

제20조

이 약관에 위배되는 행위가 있어 만일 분쟁이 발생한 경우는, 그 주소 여부를 불문하고 도쿄지방재판소를 관할 재판소로 하는 데에 동의하는 것으로 합니다.

제21조

천재지변, 및 기타 당 호텔에 책임이 없는 이유로 인해 당 호텔의 전부 또는 일부가 소멸 또는 파손되어 사용이 불가능해진 경우, 숙박 계약은 당연히 종료됩니다.

제22조

숙박객과 당 호텔 간의 숙박 계약은 일본법에 준거하며 일본법에 따라 해석되는 것으로 합니다.

제23조

숙박 약관이 복수의 언어로 작성된 경우, 각 숙박 약관의 기재 내용에 불일치, 상이점, 모순, 기타 어긋남이 있는 경우, 일본어로 표기된 숙박 약관의 기재 내용이 우선하는 것으로 합니다.

별표1 숙박 요금 등의 내역(제2조 제1항 및 제12조 제1항 관련)

		내역
숙박자가 지불해야 할 총액	숙박 요금	①기본 숙박료(방값 또는 방값+음식값)
	추가 요금	②음식값 및 기타 이용 요금
	세 금	③소비세 및 지방세

비고1. 기본 숙박요금은 당 호텔이 제시하는 요금표에 명시되어 있습니다.

별표2 위약금(제6조 제2항 관련)

계약 인원	계약 해지 통지를 받은 날	비율			
		비숙박	당일	전일	7일 전
일반	14명까지	100%	80%	20%	-
단체	15명 이상	100%	100%	50%	10%

비고 1. %는 기본 숙박료에 대한 위약금의 비율입니다.

2. 계약일수가 단축된 경우에는 그 단축일수와 상관없이 1일분(첫날)의 위약금을 받습니다.